

2021年度（令和3年度） 学校関係者による学校評価（外部評価）

A：達成できている B：ほぼ達成できている C：あまり達成できていない D：達成できていない

※評定は、評価者数が一番多い評価を学校関係者の評価としました。

		評価項目	評定	評定に関する説明および今後に向けての助言
本園の教育について	1	園の教育方針や教育内容、目標をわかりやすく伝えている	A	<p>○教育方針や教育内容、目標は教職員の日々の努力や、毎月発行されている「おひさま」で明確に伝えられていると思われる。</p> <p>○教育方針である「思いやりと感謝の心を持つ子ども」は、コロナ禍の中、不自由な制限がある中で、友達を思いやる心を気づき、発見できる環境だと考えると、教職員においても共に学べると思われる。カトリック精神を基に、教育環境は安定し、園児にも正しく伝わっていると思う。</p> <p>○日々のお祈りは大切で、困っている人のために行動を起こすことは勇気があるが祈ってあげることがすぐにできる。園児の成長につながっていると思われる。園だよりからも友達を思いやる気持ちが育っていると思う。</p> <p>○毎月の誕生児への先生からのコメントからも職員が一人ひとりの良い所を見ていることがわかる。</p> <p>○縦割りクラスにより、年長児が年中、年少児に気を配ることが身につく、お手本となっている。</p>
	2	園は教育目標に向かって努力している	A	
	3	園はカトリックの精神を基に、まわりの人を思いやる心の育成に努めている	A	
	4	聞く姿勢や自分で考えて行動できるような指導に力を入れている	A	
	5	教職員は一人ひとりの個性を大切に、適切な関わり方に努めている	A	
	6	園児は園生活のなかでお互いの良さや頑張りを認め合って生活している	A	
研究研修	7	園内外の研修に積極的に参加し、資質の向上を図っている	A	<p>○コロナ禍の為、難しい状況で大変さを感じるが、教職員の連携を図り、子ども達の成長につなげてほしい。</p> <p>○オンラインでの研修等で工夫されている。保育、教育の質向上に更なる継続を期待する。</p>
	8	目標達成に向け、各学年・学級間での連携、情報交換に努めている	A	

安全管理	9	防災防犯等の避難訓練の年間計画を立て、毎月実施している	A	○毎月の避難訓練や、安全指導を今後も続け、安全に対する意識や習慣が身につくように努めて欲しい。引き続きの実施を期待する。 ○防犯カメラ設置をホームページや、お知らせなどで周知したほうがいい。 ○普段から防犯カメラのモニターチェック等職員一人一人が不審者侵入時の対応を意識してほしい。
	10	施設設備の安全点検を定期的に行い、危険の早期発見に努めている	A	
	11	不審者への対策が講じられている	A	
保健管理	12	手洗い、うがいなどの生活習慣の確立や生活のリズム、食事の大切さなど健康に関わる指導をしている	A	○コロナ禍の中、生活習慣を意識し、より良く指導され、子ども達も積極的に行っている。園でも家庭でも習慣化されている。 ○保護者にとって我が子の成長が何よりも嬉しいことなので、保健管理は継続してほしい。
	13	健康診断や毎月の身体測定などで幼児の健康状況を把握し、情報を提供している	A	
預かり等	14	日々の預かり保育や長期預かり保育の内容充実に努めている	A	○預かり保育の充実が保護者にとっての安心につながっている。 ○保護者が安心して仕事に向かえるありがたい存在である事を忘れず、今後も自信をもって努めてほしい。
家庭・地域との連携	15	未就園児教室や子育てセミナーを開催し、積極的に子育て支援を行っている	A	○ホームページの情報発信は、園として適切に行われている。日頃の業務を鑑みて、無理せず、園の考える方向性で発信していいと考える。 ○園便りやクラスだよりは園児一人ひとりの様子がわかり、保護者にとって宝物となる。 ○コロナ禍で、制限のある中、園としてできることは行えていると思う。そのことが保護者からの信頼となるので、職員が感じたこと、努めている事の発信は大切と思う。
	16	園便りやホームページなどをおして、教育活動や園生活、園児の様子の情報発信に努めている	A	
施設設備	17	園は毎月の教職員の定期点検を確実に実施し、施設・設備の点検や補修・管理に努めている	A	○これからも定期点検を行い、安心、安全に努めてほしい。今後も継続して園児が楽しく過ごせる園であってほしい。

■総合評価

評価	理由
A	<p>園の教育方針や教育内容、目標は園便りなどで、保護者へ伝えられていると思う。コロナ禍の中、安心、安全を第一に考え、日常の保育や行事においても工夫しての開催に努力を感じ、評価できる。</p> <p>園児数も多く、園児一人一人の個性の把握や、園での様子の情報発信など保護者から求められることも多いと思われるが、今後も教職員間の連携、保護者との連携をとりつつ、更なる努力が必要であると思われる。これからも保護者とのよい関係性を持っていただきたい。</p> <p>研修など例年通りにはできないことも多かったと思うが、オンラインでの研修や講演会などできることを取り入れ、教職員が日々資質向上に向かう姿勢が感じられる。現状を踏まえ、今、出来る事を考え努力し、これからも新しい取り組みを期待する。</p> <p>毎月避難訓練も実施されており、災害への備え、防犯対策への意識の高さも感じられる。今後も安心、安全に努めて欲しい。</p> <p>子ども達一人一人を大切に思う思いが感じられる。自信を持って進んで欲しい。</p>

■改善すべき点及び今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理・ 保健管理・ 対策等	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策面で不安を感じている保護者がいる。教職員全員がさらに安全対策への意識を高め、保護者へも周知していく必要性を感じる。 ・門扉の開閉状態を教職員全員が常に意識し、施錠を心掛ける。 ・防犯カメラの設置や、避難訓練の実施など、保護者へもホームページなどで周知していく。 ・子ども達の安全を意識し、不審者対策、安全指導を日常の保育で行っていく。 ・コロナ禍の中、手洗いうがいの徹底、体調管理等、安全に子ども達が過ごせる環境作りを意識していく。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談に適切に対応できるよう、教職員がチームワークをもって対応していく。 ・連絡帳の活用を含め、保護者への報告を怠らず、保護者の安心、信頼を得るようにしていく。 ・けがの報告を怠らないよう確実にしていく。 ・職員間での情報の共有を大切にしていく。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやメールでの発信の工夫をしていく。 ・コロナ禍で、参観や面談、行事等が例年通りにはいかない中、工夫しながら園生活の様子を伝えていけるよう努力する。 ・保育内容の情報発信の機会を増やしていく。